

船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009函第21号	
事故等種類	衝突（防波堤）	
発生日時	平成21年3月17日 04時50分ごろ	
発生場所	北海道苫小牧港東外防波堤灯台から真方位120° 100m付近 (概位 北緯42° 36.9′ 東経141° 37.3′)	
事故等調査の経過	平成21年3月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 漁船 第六十一 ^{こんびら} 金毘羅丸、7.9トン 船舶番号、船舶所有者等 HK2-19585（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船首部外板き裂、船首部ブルワーク剥離	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、苫小牧港に向けて約6ノットの速力で手動操舵により帰港中、平成21年3月17日04時50分ごろ、同港東島防波堤北東端に船首部が衝突した。 本船は、自力で苫小牧港へ帰港し、船首部外板き裂、船首部ブルワーク剥離が確認され、修理された。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風速 約1m/s、視界 良好	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、帰港中、周囲の見張りを適切に行わず、回避動作が遅れたものと考えられる。 船長は、操船中、考え事をしながら見張りを行い、苫小牧港東島防波堤に向かって航行していることに気付かず、同防波堤が目前に迫って気付いたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が帰港中、適切な見張りを行わなかったため、防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。	